



マダニヤイ ととと 散歩旅 815

東京女子医大の吉岡弥生記念室に飾られる吉岡の写真と宮田麻理子教授。東京都新宿区



若松河田駅近くの東京女子医大。学生が主に授業を

大久保通り 東京女子医大

女性リーダー育成 継ぐ志

受ける教育棟に入ると必ず目に飛び込むのが、創立者の吉岡弥生の写真と、建学の理念である「至誠 愛」の揮毫。吉岡や大学の歩みを伝える記念室だ。

静岡県生まれの吉岡は済生学舎(現・日本医科大)を出て、1893年に医師の資格を得た。日本の女性としては27人目だった。

ところが1900年、済生学舎が女子の受け入れを拒否したため、女性が医師になる道は閉ざされた。同年、吉岡がドイツ語講師の夫と共に設立したが、現在の東京女子医大の前身となる東京女医学校だった。

「後進のために自ら学校を建てる爆発的なエネルギーは、同時代に活躍したほかの女性医師にない、弥生先生だけのものでした」。

図書館長を務める宮田麻理子教授(生理学)も卒業生だ。「社会に貢献し、女性全体のリーダーになれる医師を育てるといふ弥生先生の教えはいまも教育に生かされています」

記念室には産婦人科医だった吉岡の医療器具や本人が書いた掛け軸、卒業生の活躍を伝えるパネルが展示されている。新型コロナの影響で見学を制限しているため事前連絡を。(伊木緑)